



生きものの“つぶやき”：

「見てないで助けてよ！」

エッセイ：

「あと少しだけ」

夜にバーベキューをしていると明かりに寄ってきたクスサンという蛾が飛んできました。

クスサンは幼虫のときは緑色の毛虫ですが、成虫になると、口が退化して食べることができなくなり、そもそもこの体毛に綺麗な形の触覚を持つ可愛い見た目になる蛾です。蛾は夜、明かりに寄ってくる習性があり、どこからともなく飛んでくるので、それは避けようのないことなのですが、慌ただしく飛んできたクスサンはテーブルなどにぶつかって羽が折れてしまい、それから飛ぼうとしてもすぐに落下してしまうようになりました。その様子に申し訳なさを感じつつも、その可愛さに見惚れてしまいました。この状態ではもう自然で生きていくことは難しそうですが、近くにあった木に掴まらせて「ごめんね」と言いました。（371字）

生きものの紹介：

クスサン（樟蚕／楠蚕、*Saturnia japonica*）はチョウ目・ヤママユガ科のガの一一種。身近に生息する大型の蛾であり、幼虫、蛹に別名がある。成虫は開張 100mm 以上、褐色の大きな翅をもつ。幼虫はクスギ、コナラ、サクラなど様々な樹木の葉を食べる。卵で越冬し、幼虫は 4-7 月に出現する。幼虫は体長 80mm にも及ぶ青白色の大型のケムシで、白色の長毛を生やしているためにシラガタロウと呼ばれる。繭は糸を寄り合わせた楕円形のものだが、壁面は網目状に穴が開いているので、スカシダワラと呼ばれる。7 月前半頃に楕円形の固

撮影場所・日時：

北海道伊達市東有珠町 2025 年 9 月 16 日

応募者の自己紹介：

1. 氏名：原田 航毅
2. 高校・学年：広島桜ヶ丘高等学校・2 年

審査員からのコメント：

被写体の躍動感や迫力が素晴らしい。光の当たり方も含めて、映画のワンシーンのよう。
迫力があります。